

イントロダクション：1EdTech技術標準と教育DX

1 | 1EdTechコンソーシアムとは

e-LearningやICT活用教育の分野では、ソフトウェアやコンテンツ、データの国際標準化を進め相互運用性(Interoperability)を高めることで、その流通や共有再利用、開発コストの低減が進められています。国際標準化団体1EdTechコンソーシアム(ワンエンドテック・コンソーシアム)は教育情報システムのための国際技術標準の策定にくわえ、その実用を通じてICTによる教育改革を推進する国際コミュニティです。

2 | 1EdTech技術標準と教育デジタル・トランスフォーメーション(教育DX)

1EdTechコンソーシアムが開発公開している20を超える技術標準は、学習管理システム(LMS)ばかりでなく教務(校務)システム、試験システム、デジタルクレデンシャルシステム、カリキュラム・シラバス管理システムなどさまざまな教育情報システムをカバーし、システム間の相互運用性を高めています。なかでも、セキュリティやプライバシーに関わる複数の技術標準に共通する取り決めや最新のAIデータに関わる技術標準(開発中)は、教育デジタル・トランスフォーメーション(教育DX)をデジタルエコシステムによって実現する際に不可欠なものとなるでしょう。

Key Word 1



デジタル・トランスフォーメーション戦略

デジタル技術で学びの改革を実現します。

Digital Transformation Strategy

プラグ&プレイ型システム統合

自由に統合できて、プラグインすればすぐに使えるように、学びのシステムやツールを開発します。

Key Word 2



Seamless Plug & Play Integration

Key Word 3



アジャイル型オープンアーキテクチャと拡張性のあるエコシステム

アーキテクチャはオープンに、多様なニッチと特色ある製品を受け入れる拡張性の高いデジタルエコシステムを理想とします。

Agile Open Architecture & Extensive Ecosystem

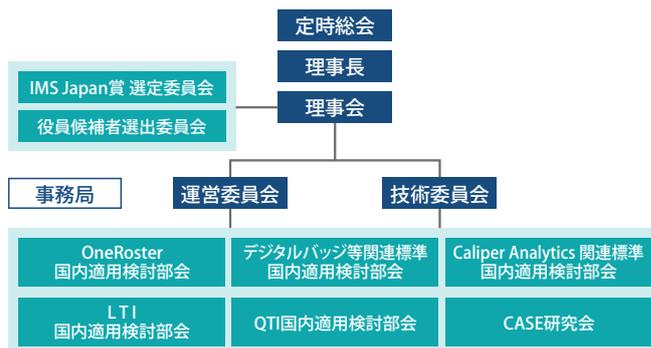
DIGITAL CREDENTIALS & PATHWAYS	LEARNING DATA & ANALYTICS	INTEGRATED ASSESSMENT	LEARNING PLATFORMS, APPS & TOOLS	CURRICULUM INNOVATION
 <p>デジタルクレデンシャルは、生涯学習者が自らの学習エビデンスに基づくスキルと成果を管理できるようにし、修了歴ではなく学習歴に基づくキャリアの実現をサポートすることにより、教育と専門能力開発についての考え方を一新しています。</p>	 <p>すべてのデジタルリソースからの学習ログデータ(リアルタイムで利用可能で、ダッシュボードを使用して表示可能)は、学生のキャリア戦略、組織の学術的なエビデンスに基づいた人材開発戦略の意思決定、更なる高い教育・学習効果を実現するインスタクショナルデザインに情報を提供し、あらゆる学習に関する基礎研究に共通のデータ形式を提供します。</p>	 <p>誰もがアクセス可能で、教育・学習における適応性があり、情報セキュリティ面からも完全に保護された高品質の革新的なデジタル評価は、教育と学習のプロセスを補完し可視化することにより、効果的な介入と継続的な改善を可能にします。</p>	 <p>次世代の教育と学習をサポートするための最も効果的な方法は、すべてのデジタルコンテンツ、学習ツール、および評価製品を教育機関のデジタル学習プラットフォームにスケーラブルかつ安全に統合することです。</p>	 <p>さまざまなソースからの学習コンテンツをパッケージ化し、デジタルリソースの管理を合理化することで、教育にかかる貴重な時間を効率化し、より優れた学習体験につながるより多くの選択肢と柔軟性を提供します。</p>
<p>関連技術標準</p> <p>Competencies and Academic Standards Exchange(CASE) Comprehensive Learner Record Open badges</p>	<p>関連技術標準</p> <p>OneRoster Caliper Analytics</p>	<p>関連技術標準</p> <p>Question and Test Interoperability(QTI) Accessible Portable Item Protocol(APIP) Computer Adaptive Testing Proctoring Services</p>	<p>関連技術標準</p> <p>App Verting & Data Privacy Learning Tools Interoperability(LTI) LTI Advantage LTI Resouse Search</p>	<p>関連技術標準</p> <p>AccessForALL Common Cartridge OpenVideo</p>

3 | 日本1EdTech協会とは

一般社団法人日本IMS協会は、2016年に国際標準化団体IMS Global Learning Consortium（IMSグローバル）に参加する日本の大学や企業を中心となって設立されました。その後国際団体の名称変更にもない、2022年6月に、日本1EdTech協会に名称変更されました。日本1EdTech協会は、初中等教育、高等教育、生涯学習、企業内教育など、さまざまな教育・人材開発におけるDXの実現を目指し、わが国を中心に1EdTech技術標準の普及促進を行っています。

4 | 日本1EdTech協会の組織体制

日本1EdTech協会は、日本から1EdTechコンソーシアムに参加する正会員を中心に、国内限定の一般地域会員・連携会員・個人会員から構成される一般社団法人です。日本1EdTech協会は1EdTechコンソーシアムと独立した組織になりますが、共同で事業を行います。一般社団法人日本1EdTech協会は、右記のような組織体制で年間の活動計画をもとに運営しています。



5 | 会員メリットと入会のご案内

会員になると、1EdTechコンソーシアムの年会費半額割引(2024年4月現在)のほか、さまざまなメリットがあります。

〈日本1EdTech協会会員のメリット〉

- 日本1EdTech協会が主催する講演会、ワークショップ、研究会等に無料あるいは会員価格で参加できます。
- 日本1EdTech協会の部会活動（多くは、1EdTechコンソーシアムのワーキンググループに対応）に参加し、1EdTechコンソーシアムで開発中の未公開文書や開発支援ツール（ただしその一部は別途誓約書が必要）を閲覧利用することができます。
- 日本1EdTech協会の一般地域会員が1EdTech コンソーシアムの会員になる場合には、1EdTech コンソーシアムの年会費は半額になります。ただし、日本1EdTech協会から紹介された場合に限りです。

日本1EdTech協会への入会をご希望される際には、ホームページより入会申込書をダウンロードし、日本1EdTech協会事務局までご送付ください。

お問い合わせ



一般社団法人日本1EdTech協会事務局

E-Mail: contact@1edtechjapan.org

<https://www.1edtechjapan.org/> (1EdTech Japan Society)

<https://www.1edtech.org/> (1EdTech Consortium)



1EdTechJ



1EdTech